地区ロータリー財団セミナーの手引き（未来の夢計画試験地区用）

438FV-JA—(810)

本冊子は、「地区ロータリー財団セミナーの手引き（試験地区用）」（438FV-JA）の2010年版です。この手引きは、2010-11ロータリー年度、未来の夢試験地区の研修委員会とロータリー財団委員会が研修を行う際に使用する目的で作成されました。本冊子に収められている情報は、ロータリー章典、ロータリー財団章典、ロータリー財団補助金の授与と受諾の条件、地区の覚書（MOU）、クラブの覚書（MOU）に基づいています。RIの方針の詳細に関しては、これらの文書をご参照ください。規定審議会およびRI理事会、あるいはロータリー財団管理委員会で加えられたこれらの資料に対する変更は、本冊子に掲載された方針に取って代わります。

目次

1 計画と実施 **1**
目的 1
役割と責務 2
議事日程 2
リソース 3
年間予定表 7

2 セッションの手引き **8**

ご意見・ご感想

この手引きに関するご質問やご意見がありましたら、下記の担当部署までご連絡ください。

Leadership Education and Training Division
(リーダーシップ教育および研修部)
国際ロータリー
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
Eメール:leadership.training@rotary.org
電話:1-847-866-3000
ファックス:1-847-866-9446

1 計画と実施

目的

地区ロータリー財団セミナーは、ロータリー財団に参加することにより得られる恩恵を強調し、また、財団のプログラムと方針の概要を説明するための研修です。参加者は、財団に関する質問をしたり、方針の変更や年度の目標に関する最新情報を得ることができます。さらに、ロータリー財団に対して顕著な貢献を果たした地区内の会員やクラブを表彰する方法を学ぶことができます。

セミナーの目標

- ロータリー財団補助金のプロジェクトや活動に対する財政支援を増やす。
- クラブ財団委員会の設置を奨励する。
- ロータリー財団支援に対するクラブ会員の意欲を高める上で必要なツールと研修を、クラブ指導者に提供する。

参加者

地区の全会員に出席が奨励されていますが、特に対象となるのは、クラブ会長、クラブ会長エレクト、クラブ・ロータリー財団委員会の委員長と委員、地区指導者、ならびにロータリー財団について学びたいと希望する新会員です。

推奨される開催時期

地区ロータリー財団セミナーは7月から11月までの間に開催すべきです。この時期に開催することで、ロータリアンが学んだことを基に活動し、一年の終わりまでに地区の目標を達成できるようになります。

お忘れなく

予想される出席者数を基に予算を立て、その予算内でセミナーを実施するようにします。また不測事態に備えて十分な予備費も考慮しておきます。このセミナーについてロータリー財団が経費を負担することはありませんのであらかじめご留意ください。

お忘れなく

出席者に合わせて内容を決めるために、ニーズ調査を行います。参加者となるロータリアンの声に耳を傾け、彼らの関心事項や懸念事項を取り上げるとともに、地区が重要だと考える情報も織り込んで、議事日程を組み立てます。

推奨主題

- ポリオ・プラスとロータリーの2億ドルのチャレンジ
- ロータリー平和センター
- ロータリー財団の補助金
- 資金管理と資格認定手続き（クラブ・ロータリー財団委員会の責務を含む）
- 地区財団活動資金（DDF）の使用とシェア・システム
- 募金活動
- その他、地区のニーズに応じて決定された主題

役割と責務

このセミナーの招集者は地区ガバナーです。地区ロータリー財団委員会と地区研修委員会を含む、地区の指導者が協力して、セミナーの計画、手配、実施にあたります。地区ロータリー財団委員会は、地区研修委員会と協力して研修内容を立案します。研修委員会はまた、計画、推進、諸手配、研修リーダーの準備を援助することができます。ロータリー財団地域コーディネーターに、助言役、相談役、基調講演者となってもらうよう依頼するのも一案です。

議事日程

以下の議事日程は、クラブ会員全員を対象とした1日の研修を想定したものです。クラブ・ロータリー財団委員長のために別個の研修を実施したり、財団の各主題について複数の研修を同時に実施することもご検討ください。

この手引きは推奨主題を中心に取り上げています。複数の主題を同時に取り上げて、参加者が関心のある主題を選べるようにするのもよいでしょう。これらの主題に関するスライドと話の要点も提供されています（第2章を参照）。

開始時間	終了時間	所要時間	地区ロータリー財団セミナー	
		30分	登録	
		60分	開会本会議 • 連絡事項 • ロータリー財団に関する地区の功績を取り上げ、意欲を高めることを目的とした発表 • ロータリー財団全般に関する最新情報。財団活動における変更事項や新年度の財団目標を含む。	
		15分	休憩	
グループ討論（複数を同時進行）				
		60分	セッション1a： 主題 _____	セッション1b： 主題 _____
		10分	次のセッションへ移動	
グループ討論（複数を同時進行）				
		60分	セッション2a： 主題 _____	セッション2b： 主題 _____
		60分	昼食 食事の後、ロータリー財団寄付者の表彰（20分）	
グループ討論（複数を同時進行）				
		60分	セッション3a： 主題 _____	セッション3b： 主題 _____
		10分	本会議に移動	
		30分	閉会本会議 意欲を高める結びの言葉と評価書への記入	

お忘れなく

クラブ会員は、補助金管理や資格認定手続きを詳しく学ぶために、地区補助金管理セミナーに出席すべきです。最低5時間の研修である補助金管理セミナーは、地区ロータリー財団セミナーの一環として実施することも可能です。

リソース

研修リーダーは、ロータリー財団の歴史、目標、組織、方針についてロータリアンを教育するために、活用できる財団資料と人材について、一般的な知識を備えておく必要があります。

www.rotary.org

RIのウェブサイト（www.rotary.org/ja）ではロータリーに関する情報や研修関連業務を紹介しています。ロータリー財団の歴史、理念、プログラム、管理運営に関する情報を閲覧できるほか、書式、申請書、出版物のダウンロードもできます。マルチメディア資料から書籍やパンフレットにいたるまで、最新のロータリー資料をクリック一つで入手できます。

- **未来の夢計画に関するリソース**（「**会員**」→「**地区の運営**」→「**未来の夢計画**」→「**リソース**」）：未来の夢計画の出版物やその他のリソースをオンラインで紹介。地区の参考となる指針、書式、ツールをダウンロードできます。未来の夢計画に関する最新情報は常にRIのウェブサイトに掲載されています。
- 「**研修**」→「**研修リーダー向け**」：このページには、地区ロータリー財団セミナーを計画し、研修方法を学ぶのに役立つ次のような内容が掲載されています。
  - 研修会合の計画（ニーズ調査の実施、会合の手配、会合の評価など）
  - ロータリアン対象の研修（成人を研修する際の留意事項、学習の促進、参加型研修の活動例）
  - 研修リーダー対象の研修（研修リーダーの準備、「研修リーダー対象の研修セッション」見本の電子ファイル）
  - ウェビナー（ウェブ会議を開く際のベストプラクティス、説明事項、チェックリスト）
  - クラブ研修リーダー（クラブ研修リーダーの役割と責務、クラブでこの役職を設ける方法）
  - 「Rotary Training Talk（ロータリー・トレーニング・トーク）」（毎月発行されるEメールのニュースレター。郵便物のお知らせ、研修に関連する理事会決定事項、研修のヒントといったRIの研修に関する情報を提供。フランス語、ポルトガル語、スペイン語の翻訳があり、無料で定期受信できます）
  - 研修のベストプラクティス・データベース（ロータリー・クラブや地区から紹介された研修の成功談を集めたもの）
- **ロータリーEラーニング・センター**（「**会員**」→「**研修**」）：クラブレベルのロータリアンがロータリーについて独習できるようになっています。モジュール、ビデオ、ベストプラクティスといった、新会員とクラブ役員のための学習資料が用意されており、オンラインで閲覧またはダウンロードできます。これらの学習用資料は、地区の研修会合に代わるものではありませんが、適宜、研修会の補助資料として活用することができます。地区ロータリー財団セミナーへ参加する前の準備としてEラーニングのモジュールを参加者に利用してもらうのもよいでしょう。
- **ロータリーの画像・映像**（「**メディアとニュース**」→「**マルチメディア**」）：世界各地のプロジェクト、プログラム、ロータリアンの写真数千点を検索できるデータベース。無料でダウンロードでき、これらの画像・映像をプレゼンテーション、ウェブサイト、出版物等に利用することができます。

人材

- **ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC、RRFC補佐）：**ロータリー財団全般に関して、地区とクラブを援助するために任命されたロータリアン。
- **ロータリー財団学友コーディネーター（RFAC）：**財団プログラムの学友とのつながりを再び築き、学友に財団の活動に参加してもらう目的で、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を援助する。
- **ゾーン・チャレンジ・コーディネーター：**ロータリーの2億ドルのチャレンジへの募金活動において、ロータリー財団地域コーディネーター、クラブ、地区を援助する。
- **RI世界本部のロータリー財団職員、またはRI日本事務局の職員：**ロータリー財団プログラムおよび寄付増進に関与しているロータリアン、クラブ、地区に支援や助言を提供する担当職員。

その他のリソース

- 「Official Directory（公式名簿）」（007-EN）：RIと財団の役員、委員会、支援グループ、事務局職員、世界中の地区とガバナーの一覧、地区ごとのクラブ情報（アルファベット順）が掲載されており、毎年発行されます。
- 「手続要覧」（035-JA）：立法決議、RI理事会、財団管理委員会により制定されたRI定款細則をはじめとするRIと財団の方針や手続を掲載。3年ごとに、各規定審議会の後に発行されます。
- 「RIカタログ」（019-JA）：RIマルチメディア資料、出版物、書式、用紙類の一覧。毎年改訂（オンライン版のカタログは、shop.rotary.orgで定期的に更新されます）。

お忘れなく

グローバル補助金では、地域社会のニーズを記録するための調査が義務づけられています。

奉仕プロジェクト

- 「活動する地域社会：効果的なプロジェクトのための指針」（605-JA）：奉仕プロジェクトの計画、実施、評価に関する概説書。「地域社会の調査法の紹介」：地域社会を効果的に調査するための指針を詳細に説明。

ロータリー財団

- 「未来の夢試験段階のニュースレター」：ウェブサイトに掲載された最新の情報、よく尋ねられる質問、お知らせなどをまとめた月刊ニュースレター。
- 「未来の夢計画覚書（MOU）に関する指針」：地区が覚書を実行する際に役立つ情報を掲載。
- 「ロータリー財団補助金 授与と受諾の条件」：ロータリー財団の新地区補助金、クラブまたは地区が立案したグローバル補助金の基準を概説。

広報

- 「Effective Public Relations: A Guide for Rotary Clubs（効果的な広報：ロータリー・クラブのための手引き）」（257-EN）：クラブ活動を推進する上でロータリアンを助ける基本的な心得や資料を掲載。
- 「メディア危機対策プラン」（515-JA）：予期しない出来事によりメディアから問い合わせがあった場合、ロータリー・クラブや地区が効果的かつ効率よく対処する上で役立つ。

地区のリソース

RIの資料は、世界中のロータリアンのニーズに合わせて作成されたものです。これらの資料に、以下のような地区・地域独自の資料を補足してください。

- 地区指導者
- 地区名簿
- 地区のウェブサイト
- プロジェクトや活動の成功例
- ロータリー財団に関する成功談
- 地区の重要な行事日程を記した年間予定表

精選出版物のリスト

以下は、地区ロータリー財団セミナーでの使用が推奨されている、財団の一般的な出版物のリストです（ほとんどの出版物は無料です）。参加者の関心にあわせて自由に閲覧できるよう、テーブルに各種出版物を用意しておくことをお勧めします。参加者4人につき、出版物1部を注文しておくことを目安としてください。

出版物は、オンラインショップ（shop.rotary.org）、RI世界本部出版物注文業務課（電話：1-847-866-4600、ファックス：1-847-866-3276、Eメール：shop.rotary@rotary.org）、日本事務局からご注文いただけます。**手続き、発送には少なくとも6週間かかりますのでご了承ください**。出版物の多くは、RIウェブサイトからもダウンロードいただけます。

一般情報

219	ロータリー財団申請手続早見用手引き	159	ロータリー財団携帯用カード
187	国際ロータリーとロータリー財団：年次報告	208	ロータリー財団の目標

ポリオ・プラス

985	ロータリーの2億ドルのチャレンジ DVD	987	ロータリーの2億ドルのチャレンジ ポスター
986	ロータリーの2億ドルのチャレンジ パンフレット	ポリオ・プラス・ヘッドライナー・キット（オンラインのみ）	

平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター

075	ロータリー平和フェローシップポスター	085	ロータリアンのためのプログラム手引き：国際問題研究のためのロータリー・センター
084	ロータリー平和フェローシップパンフレット		

未来の夢計画（オンラインのみ）

- 補助金管理の手引き
- 試験地区と非試験地区との協力について
- 覚書（MOU）に関する指針

寄付増進

149	ベネファクター寄付誓約書
173	二つのニーズに応える、二つの寄付方法
183	Securing the Future（確かな未来：ロータリー財団への遺贈）
123	ロータリー財団への寄付・送金明細書
097	遺贈友の会への入会ご案内
098	遺贈友の会申込書
175	Publicly Traded Securities（証券の公的取引き）（米国・カナダのみ）
109	Life Income Gifts（生涯収入の準備）（米国のみ）
382	Donor Advised Fund Leaflet（使途推奨冠名基金小冊子）（米国のみ）
957	毎年あなたも100ドルを〔パンフレット〕
978	毎年あなたも100ドルを〔DVD〕
956	毎年あなたも100ドルを「財団の友」会員バッジ・ステッカー
959	毎年あなたも100ドルを〔ポスター〕（2枚組）

年間予定表

www.rotary.org（「会員」→「研修」→「研修リーダー向け」→「研修会合の計画」）研修の年間予定表をダウンロードすることができます。この予定表は研修会合の計画手順を概説しているほか、研修前の各月にどういった準備を行うべきかを示しています。さらに、各手配の担当者と完了予定日を記入するスペースも設けられています。

2 セッションの手引き

セッションに関する以下の概要は、地区に適した地区ロータリー財団セミナーを計画するための土台としてお役立てください。すべての主題を取り上げることは不可能であるため、地区内のロータリアンに最も関連し、そのニーズを満たすような主題を選ぶようにしてください。取り上げる主題を決めた後に、続くページでセッションの概要をご覧ください。進行役付きのグループ討論の概要には、以下が含まれています。

- 研修目的
- 各主題の詳しい情報を掲載したオンラインのリソース
- 地区独自の情報（プレゼンテーションに含めることが可能）に関するアドバイス（別に準備が必要となる場合があります）
- RIのウェブサイトに掲載されているパワーポイント・プレゼンテーションの各スライドを補足する「話の要点」
- 討論のための質問
- 活動例

開会本会議

開会本会議は、研修セミナーの基調を定める機会となります。参加者に情報を提供し、参加者の動機と意欲を喚起するようなものとしてください。

話の要点

- クラブ会員がロータリー財団の活動に参加する上で、このセミナーがどのように役立つかを説明する。
- 研修の議事日程（休憩時間や食事の時間を含む）を一通り説明する。
- 分科会の手順を説明する。
- ロータリー財団に関し、前年度に地区が達成した功績について説明する。
- ポリオ・プラス、ロータリー平和センター、ロータリー財団の補助金に関する概要を提供する。この際に、財団の活動における変更事項や次年度の目標について取り上げる。
- 未来の夢計画の下、試験地区となることの意義を説明する。

- 新補助金モデルについて学び、夢計画が全面的に実施される前に加える変更事項について、求められれば意見を提供するよう、参加者に呼びかける。

セッション1：ポリオ・プラス

研修目的

本セッション終了後、参加者に期待されること

- ポリオ撲滅に向けたロータリーの活動と進捗について説明できる
- ロータリーの2億ドルのチャレンジを支援し、地域社会の人々にポリオ撲滅について伝えるために、どのような募金活動をクラブで実施できるかを特定することができる
- ポリオ撲滅を世界的に証明することの重要性を理解する

オンラインのリソース

ポリオ・プラスに関する情報とリソースは、www.rotary.org（「奉仕と親睦」→「ポリオについて」）でご覧いただけます。

地区独自の情報

以下のような形で、地区に見合ったプレゼンテーションを行うことができます。

- 地区内のクラブが昨年度に行った活動の写真をスライドに挿入する。
- 昨年度、クラブがポリオ・プラスへ寄付した金額を発表する。
- ポリオ感染国、あるいはポリオ流入国にある地区の場合は、国内でのポリオの最近の症例について最新情報を提供する。

話の要点

ポリオ撲滅は、ロータリーの最優先事項です。最新のプレゼンテーションと発表の要点は、RIのウェブサイト（「奉仕と親睦」→「ポリオについて」→「ポリオ撲滅の支援方法」）に掲載されている「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」：パワーポイントによるプレゼンテーションならびに発表の要点をご覧ください。以下は、プレゼンテーションをコンピューターあるいはUSBドライブに保存する方法です。

1. 上記の「発表の要点」をクリックする（「ポリオ撲滅の支援方法」のページが開きます）。
2. 「以下をダウンロードする」までスクロールダウンし、「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」：パワーポイントによるプレゼンテーションをクリックする。
3. 「Save（保存）」をクリックする。

討論のための質問

- ポリオ無発生国のクラブは、ポリオ・プラスにどのように参加することができますか。
- ロータリーの2億ドルのチャレンジを支援するためにクラブが実施できる効果的な募金活動には、どのようなものがありますか。
- ロータリーの2億ドルのチャレンジに対する一般の人々の関心を高めるには、どうすればよいでしょうか。

活動例

- 参加者を小グループに分け、これまでに成功したポリオ募金活動と、地域社会で実施できる新しい募金活動のアイデアを5つ挙げてもらう。
- ロータリアン以外の人々と会話する際に、ポリオ撲滅に対するロータリーの活動について伝えることができるよう、1分間のスピーチを作ってもらう。
- 参加者を小グループに分け、ロータリーのポリオ撲滅活動について伝えるための広報キャンペーンを企画してもらう。

セッション2：ロータリー平和センター

研修目的

本セッション終了後、参加者に期待されること

- ロータリー平和センター・プログラムについて説明することができる
- ロータリー平和フェローの選考基準について理解する
- ロータリー平和センターの支援方法を理解する

オンラインのリソース

プログラムの概要、申請方法、プログラムの参加者、ならびに関連資料は、www.rotary.org（「学生と青少年」→「教育的プログラム」→「ロータリー平和センター」）でご覧いただけます。

地区独自の情報

以下のような形で、地区に見合ったプレゼンテーションを行うことができます。

- ロータリー平和センターの学友を基調講演者として招く。
- 昨年度、地区が派遣したロータリー平和フェローの数を伝える。
- 地区がロータリー平和センターの近くにある場合、現在、研究をしているフェローを紹介する。

話の要点

- 平和と紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターは、世界理解と平和の実現を目指す財団の使命を達成するために、ロータリーが優先して行っている主要な教育活動です。
- 国際関係、平和研究、紛争解決などの関連分野の修士号プログラム、あるいは3カ月間の修了証プログラムに、毎年、最高で100人のロータリー平和フェローが新しく選ばれます。
- ロータリー平和センターの目的は以下の通りです。
  - 平和、親善、紛争の原因と世界理解の問題に関する研究、指導、知識を向上させる。
  - さまざまな国や文化から選ばれたロータリー平和フェローにさらに高度な教育を提供し、将来、政府、民間企業、教育、報道機関、その他の分野においてリーダーとなる素質を持つ人々に知識と世界理解を身につけさせる。
  - 世界理解と平和の実現に向けて、ロータリー財団とロータリー・クラブが、人々の間に寛容と協力の精神をより効果的に広められるようなプログラムを確立する。

- ロータリー平和センターは、以下の提携大学に設置されています。
  - 国際基督教大学（日本、東京）
  - クイーンズランド大学（オーストラリア、クイーンズランド州ブリスベーン）
  - ブラッドフォード大学（英国、ウェストヨークシャー州）
  - デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校（米国）
  - サルバドール大学（アルゼンチン、ブエノスアイレス）
  - チュラロンコーン大学（タイ、バンコク）
- ロータリー平和フェローの選考基準は以下の通りです。
  - リーダーシップを発揮している。
  - 個人的な奉仕活動ならびに社会奉仕活動を通して、または学問上、職務上の業績を通して、平和と国際理解への専心を実証している。
  - 平和と紛争解決に関連する明確なキャリア目標を持っている。

  修士号プログラムに関するその他の基準：
  - 関連分野の学士号を有し、優秀な学業成績を収めている。
  - 2カ国語以上の言語に堪能である（母国語が話されている国に留学する場合であっても）。
  - 関連分野において少なくとも合計3年間のフルタイムの職務経験（有給または無給）を有している。

  修了証プログラムに関するその他の基準：
  - 関連分野において少なくとも5年間の職務経験を有している。
- ロータリアンは、以下のような形でロータリー平和センターを支援することができます。
  - 資格ある候補者を募集し、世界競争制に基づいて授与されるフェローシップに推薦する。世界審査に向けて、毎年、候補者を1人推薦するよう全地区に呼びかけられています。
  - 毎年、フェローシップに25,000米ドル以上の寄付を贈ることのできる大口寄付者を地元で見つける。
  - ロータリー平和センター学友にクラブ例会で卓話をするよう求めたり、クラブの活動に参加してもらう。
- ご質問は、rotarypeacecenters@rotary.orgまでご連絡ください。

討論のための質問

- ロータリアンは、どのようにロータリー平和センターを支援することができますか。
- クラブ内で、ロータリー平和センターを推進する方法には、どのようなものがありますか。
- ロータリー平和フェロー学友をクラブの活動に参加させる方法には、どのようなものがありますか。

活動例

- このプログラムの利点について、クラブ会員、プログラムの候補者、大口寄付見込み者に、どのように説明するかを検討してもらう（説明は簡潔に）。
- 参加者を小グループに分け、申請者を集めるために地域社会でロータリー平和フェローシップを推進する計画を立ててもらう。
- 参加者を小グループに分け、ロータリー平和センターに関心を持つ大口寄付者を探し出すための方法について話し合ってもらう。

セッション3：ロータリー財団の補助金

研修目的

本セッション終了後、参加者に期待されること

- グローバル補助金と新地区補助金の違いを説明できる
- 新地区補助金を地区に申請する方法を学ぶ
- グローバル補助金の申請方法を理解する

オンラインのリソース

未来の夢計画に関する記事や出版物、関連リソースは、www.rotary.org（「会員」→「地区の運営」→「未来の夢計画」）でご覧いただけます。また参加者は、ロータリーのEラーニング・センター（「会員」→「研修」→「全ロータリアン向け」→「ロータリーEラーニング・センター」）で、必要な知識を得ることができます。

地区独自の情報

以下のような形で、地区に見合ったプレゼンテーションを行うことができます。

- クラブから地区へプロジェクトのアイデアを提出してもらう際の手続き、プロジェクトのアイデアの提出期限、クラブに支給される新地区補助金の管理、報告要件を満たすためにクラブから情報を収集することについて説明する。グローバル補助金の提案書を提出する前に、クラブが地区に通知を行うことを要件として含めることを検討する（グローバル補助金の提案書では、地区の署名が必要とならないため）。
- 地区内で提案された新地区補助金の例を紹介する。
- 地区が立案したグローバル補助金で、ロータリアンの参加を必要とするものについて取り上げる。
- 地区内で現在実施されている補助金の状況について最新情報を提供する。
- 6つの重点分野のいずれかに取り組んでいる活動の写真を活用する。

話の要点

- 未来の夢計画の下、財団は、新地区補助金とグローバル補助金の2種類の補助金を提供します。グローバル補助金には、クラブと地区が立案したプロジェクトへの補助金と、パッケージ・グラントの2つのオプションがあります。
- ロータリー財団の補助金を活用して実施されるプロジェクトと活動はすべて、財団の使命に関連したものであり、ロータリアンが積極的に参加し、資金管理の指針を順守し、文化的な配慮を示したものである必要があります。全指針については、ロータリー財団の補助金の授与と受諾の条件をご覧ください。

新地区補助金

- 新地区補助金では、決定権が地区レベルに移行され、指針がさらに柔軟なものになっています。地元や海外での小規模な活動やプロジェクトに対し、年に1口支給される新地区補助金は、財団の使命に沿った活動に使用されます。
- ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。
- ロータリー財団の標語は、「世界でよいことをしよう」です。
- 以下の事項も含め、新地区補助金の管理に関する地区の手続きを説明してください。
  - 地区財団活動資金（DDF）の配分方法を地区で計画するために、クラブからプロジェクトのアイデアを募ること
  - プロジェクトのアイデアの提出期限
  - クラブへの新地区補助金の支給
  - 財団に提出する報告書を作成するために、クラブから情報を収集すること

グローバル補助金

- グローバル補助金は、長期的で持続可能なプロジェクトに授与される補助金で、重点分野の少なくとも1つに該当しなければなりません。これは、少なくとも15,000米ドル（総予算が少なくとも30,000ドル）が支給される、比較的高額な補助金です。クラブと地区が立案するグローバル補助金では、地区財団活動資金（DDF）に対しては100パーセント、現金に対しては50パーセントが上乗せされます。パッケージ・グラントは、100パーセント、国際財団活動資金（WF）で賄われます。
- グローバル補助金のプロジェクトと活動すべてに、持続可能性の原則を適用することで、以下が可能となります。
  - 財団の資金がすべて使用された後にもプロジェクトがもたらした影響を持続させる。
  - 経済、文化、社会、リソースなど、多様なレベルでの持続可能性を目指して取り組む。
  - 地元のリソース、地域内の考え方や意見、現地の人々の知識を活用する。
  - 天然資源基盤を大切にし、現地の環境を悪化させたり、破壊したりしない。
  - 適宜、最大数の人々に恩恵を与える。
  - 財団の重点分野に関連する職業分野で、奨学生やその他の人々が画期的な新手法に貢献できるようにする。
  - 参加者が活動を行っている地域社会や職業で大きな影響をもたらし、効果を高められるようにする。
  - ロータリー地域社会共同隊など、草の根の人々や団体の意見やスキルを生かし、プロジェクトと活動の継続性を図る。
- ロータリー財団管理委員会は、新しい補助金のために6つの重点分野を定めました。これらの分野は、ロータリアンが既に世界中で取り組んでいる重要な人道的問題とニーズを反映しています。6つの重点分野は以下の通りです。
  - 平和と紛争予防／紛争解決

— 疾病予防と治療

— 水と衛生設備

— 母子の健康

— 基本的教育と識字率向上

— 経済と地域社会の発展

- 「会員アクセス」にログインし、グローバル補助金の提案書や申請書の提出、補助金状況の確認、報告書の提出を行うことができます。
- クラブと地区が立案するグローバル補助金の申請手続きは以下の通りです。

  1. クラブがグローバル補助金を申請するには、地区から参加資格を得る必要があります（参加資格についてはセッション4で取り上げられています）。
  2. クラブ会員1名（たいていの場合は、クラブ・ロータリー財団委員長）が、「会員アクセス」を通じてオンラインでロータリー財団に提案書を提出します。
  3. 財団が提案書を審査します。
  4. 提案書が承認された後、クラブは6カ月以内に申請書を提出します（6カ月を過ぎると、提案書は撤回されたものとみなされます）。
  5. クラブが申請書に記入した後、地区ロータリー財団委員長は、申請書が提出される前に、「会員アクセス」にてこれを承認する必要があります。
  6. 財団が申請書を審査します。

- プロジェクトの提唱者は、中間報告書を、補助金の最初の支給を受けてから12カ月以内に、またその後もプロジェクトが完了するまで12カ月ごとに提出しなければなりません。最終報告書は、プロジェクト終了後の2カ月以内に提出する必要があります。未使用の資金はロータリー財団に返還され、国際財団活動資金（WF）に加算されます。未提出の報告書がある場合、新規の補助金申請書は受理されません。
- パッケージ・グラントは、協力組織のほか、ロータリアン行動グループなどのようなロータリー関連団体、または該当分野で活動するロータリアンと協力して実施することができます。これらのプロジェクトや活動は重点分野を支えるもので、奨学金、人道的プロジェクト、職業研修なども含まれます。ロータリー財団は現在、試験地区のためにパッケージ・グラントを立案中で、この補助金が利用可能になり次第、ロータリアンに通知されることとなっています。このプロセスは新しいため、財団は、試験段階中に徐々に補助金の数を増やしていきます。
- グローバル補助金のためのDDFの承認、締切日、DDFを使用する補助金プロジェクトの決定に関する地区の手続きを説明してください。
- 質問がある場合は、補助金コーディネーターに直接連絡してください。担当の補助金コーディネーターがわからない場合は、Eメール（futurevision@rotary.org）でお問い合わせください。

討論のための質問

- 補助金の管理において、地区ロータリー財団委員会とどのように協力しますか。
- グローバル補助金では、クラブ間の協力が奨励されています。大規模なプロジェクトにおいて、あなたのクラブは複数のクラブとどのように協力することができますか。
- あなたのクラブにとって、最も関心のある重点分野はどれですか。あなたならどのようなプロジェクトを検討しますか。

活動例

- 参加者を小グループに分け、各グループに、重点分野のそれぞれについてグローバル補助金のアイデアを少なくとも1つ挙げてもらう。
- プロジェクトの例を提供し、各プロジェクトが、グローバル補助金あるいは新地区補助金のどちらを受ける資格があるかを検討してもらう。
- 参加者に、地区が立案したグローバル補助金の提案書に目を通してもらい、クラブがこの補助金にどのように参加できるかを検討してもらう。また、この補助金をどのように実施するか計画を立ててもらう。

セッション4：資金管理と参加資格

研修目的

本セッション終了後、参加者に期待されること

- 適切な資金管理の実践方法を知る
- ロータリー財団資金の管理者であることの重要性を理解する
- 資金管理と補助金使用との関係を理解する
- クラブが参加資格を得るための要件を知る

オンラインのリソース

参加資格に関する情報、「補助金管理の手引き」、そのほかの関連リソースは、www.rotary.org（「会員」→「地区の運営」→「未来の夢計画」→「参加資格」）でご覧いただけます。

地区独自の情報

以下のような形で、地区に見合ったプレゼンテーションを行うことができます。

- 既に行われている効果的な資金管理の実践例を紹介する。
- クラブが参加資格を得るために地区が定めている追加要件について説明する。
- 資金の誤用や不正使用があった場合の地区の手続きについて説明する。
- 資金管理に関する質問や不正使用の報告をする際の地区の連絡担当者名と連絡先を伝える。

話の要点

- 「資金管理」とは、ロータリー財団の補助金資金を責任を持って管理、監督することです。適切な資金管理を実践することによって、管理委員会の指針に従って補助金を使用し、援助を最も必要としている人々のために生かすことができます。
- 資金管理には以下が含まれます。
  - ロータリアンがプロジェクトを十分かつ徹底的に監督すること
  - 「クラブの覚書」（MOU）の記載事項を実施すること
  - 標準的な事業慣行に則ること
  - 不測の出来事を地区に報告すること。
  - 承認された通りにプロジェクトを実施すること

  - 資金が適切に使用されたことを確認するために会計記録を見直すこと
  - 期日を守って、不備のない正確な報告書を提出すること
- 財団は、寄付者の善意による惜しみない寄付によって支えられています。寄付者から託された信頼を維持するには、慎重な資金管理を行わなければなりません。
- 「クラブの覚書」（MOU）とは、クラブと地区の間の法的な同意書であり、ロータリー財団補助金の活動実施および資金管理を適切に行うために、クラブに義務づけられる実施項目を記載したものです。この文書に署名することにより、クラブは財団の全要件の順守に同意したことになります。
- 効果的な補助金管理により、高度の会計基準に則って適切な管理の下で活動することが可能になります。徹底した資金管理によって、受益者のニーズに応え、所期の目的を果たすような活動ができるだけでなく、寄付者から託された資金を確実に守ることができます。
- 参加資格の認定手続きは、クラブがロータリー財団補助金を管理するための適切な手続きを備えられるようにすることを目的としています。クラブがグローバル補助金の資金を受領するには、まず参加資格の認定を受ける必要があります。新地区補助金の場合、クラブの資格認定を行うかどうかは、地区の裁量で決定します。
- ロータリー財団は、クラブの参加資格の最低要件として、2つの項目を定めています。
  - 会長エレクトまたは指名されたクラブの代表者が、地区補助金管理セミナーに出席しなければならない（セミナーに関する詳細は地区担当者にお問い合わせください）。
  - クラブ会長と会長エレクトが、「クラブの覚書」（MOU）を読み、署名した上で地区に提出し、地区の要件の順守に同意しなければならない。
  - （財団が作成した「クラブの覚書」（MOU）に、地区が独自に定めたクラブの追加資格要件を補遺としてここに挿入してください）
- （補助金管理セミナーの実施予定日をここに挿入してください）
- ご不明な点は、財団世界本部の資金管理担当職員（fvqualification@rotary.org）またはRI日本事務局財団室までお問い合わせください。

討論のための質問

- 適切な資金管理の実践は、プロジェクトの参加者、受益者、ロータリー財団にとってどのような利益となりますか。
- 責任ある財務管理を実践するため、補助金活動を開始する前にクラブはどのような計画や準備を整えることができますか。
- 「クラブの覚書」（MOU）の記載項目をクラブはどのように実施しますか。
- クラブが既に実践している資金管理の方法で、補助金資金の管理にも応用できるものがありますか。

活動例

- 参加者を小グループに分け、各グループに、クラブにおける資金管理・補助金管理の方法を個条書きで挙げてもらいます。参照用に「クラブの覚書」を一部渡してください。各グループに、話し合いの内容を発表してもらいます。

- 財団資金の不正使用が明らかになった場合、または疑わしい状況が生じた場合の対処方法について、3〜4人のグループに分かれて話し合ってもらいます。各グループに、話し合いの内容を発表してもらいます。
- 参加者を小グループに分け、適切な資金管理の実践が、財団への寄付の増加にいかにつながるかを話し合い、個条書きにまとめてもらいます。

セッション5：財団資金のシステム

研修目的

本セッション終了後、参加者に期待されること

- シェアシステムを理解する
- 3年周期の仕組みについて説明できる
- DDFを使用するためにクラブが地区指導者と協力する方法を理解する

オンラインのリソース

シェア、資金周期、そのほか関連リソースは、www.rotary.org（「寄付」→「基金」→「シェア」）からご覧いただけます。

地区独自の情報

以下のような形で、地区に見合ったプレゼンテーションを行うことができます。

- 次年度に利用できるDDF額を伝える。
- 補助金を配分するプロジェクトや活動の決定に関する地区の手続きについて説明する。
- 利用できるDDFについてクラブ会員が問い合わせることのできる地区指導者の連絡先を伝える。

話の要点

- ロータリー財団の補助金とプログラムは、ロータリアンやロータリー支援者からの寄付によって支えられています。寄付者は、支援する基金を以下の中から指定することができます。
  - 年次プログラム基金
  - 恒久基金
  - ポリオ・プラス基金
- 年次プログラム基金への寄付および恒久基金の投資収益は、シェアシステムに組み入れられます。シェアシステムでは、
  - 資金が国際財団活動資金（WF）と地区財団活動資金（DDF）に分けられます。
  - 財団への寄付を補助金のために活用します。
  - 財団への寄付の使い道をクラブと地区が決定し、自分たちが最も関心のある活動に参加できるようになっています。

- シェアの資金は、2種類の資金源によってもたらされています。一つは、3年前に年次プログラム基金に寄せられた寄付の一定の割合、もう一つは恒久基金への寄付の使用可能な投資収益のうちの一定の割合です。
  - シェアシステムでは、ロータリー年度末に、年次プログラム基金に地区から寄せられた寄付が分けられ、その50パーセントが国際財団活動資金（WF）に、残りの50パーセントが地区財団活動資金（DDF）（地区に戻される）となります。
  - 恒久基金の投資収益のうち使用可能な割合は、管理委員会が決定します。地区が、寄付を恒久基金／シェアに指定した場合、この寄付の投資収益はシェア周期を経ることになります（50%がWF、50%が地区のDDF）。
- DDFの使途は地区が決定します。WFの使途は、受理された（補助金の）申請に基づき、管理委員会が決定します。
- 例えば、2008-09年度に地区が年次プログラム基金に200,000米ドルを寄付したとします。この資金は、寄付年度の末に2種類の基金（100,000ドルが全ロータリアンのためのWFに、残りの100,000ドルが地区の3年後のDDFに）に分けられます。
- 財団は、寄付の3年後にこれを財団活動に活用するという独自の資金周期の下で運営されています。このような3年周期により、地区がプロジェクトや活動を計画する時間が生まれると同時に、その投資収益で財団の管理運営費と寄付増進費を賄うことができます。2008-09年度に寄せられた寄付は、その年度に投資が開始され、続く2年間に引き続き投資されます。3年後の2011-12年度に、地区は100,000米ドルを使用することができます。
- 地区は、DDFの50パーセントまでを新地区補助金に、残りの50パーセント以上をグローバル補助金に活用できます。DDFが残った場合、地区は、これをポリオ・プラスかロータリー平和センターに寄贈することもできます。
- 2011-12年度の未使用のDDF（すべての補助金申請書と寄贈が財団に報告された後に残っているDDF）は、2012-13年度に繰り越されます。繰り越された資金は、2012-13年度の新地区補助金として使用することはできませんが、グローバル補助金として活用可能な金額に追加することができます。
- 地区ガバナーと地区ロータリー財団委員会は、クラブがどの財団活動への参加に関心を持っているかについて情報を集め、把握した上で、DDFの使用方法を決定します。
- (以下のような地区特有の情報を挿入してください。
  - クラブがDDFの要請書を提出する締切日
  - DDFの配分方法を決定する手続き
  - 地区指導者の連絡先

討論のための質問

- クラブのプロジェクトに充てるDDFをどのように調達できますか。
- 年次プログラム基金に寄付することには、どのような利点がありますか。
- シェアシステムについてほかのクラブ会員をどのように教育できますか。

活動例

- セッションの最後に、2人組になってもらい、ほかのクラブ会員にシェアシステムを説明する練習をしてもらいます。

- 年次プログラム基金への寄付を増やすための方法を、思いつくままに自由に出し合ってもらい（ブレインストーミング）、回答を大型用紙に記録します。
- 5〜10の質問からなるクイズを行い、参加者の知識を確認します。セッションを終える前に答え合わせをします。

セッション6：募金と認証

研修目的

本セッション終了後、参加者に期待されること

- ポリオ・プラス基金、年次プログラム基金、恒久基金の違いを理解する
- ロータリー財団への寄付を奨励する方法を説明することができる
- 認証の種類を理解する

オンラインのリソース

会員アクセスに登録済みの全ユーザーは、個人の寄付履歴、寄付受理の方針、恒久基金財務報告書を閲覧することができます。クラブ会長、幹事、会計、ロータリー財団委員長もまた、月次寄付報告書やクラブ認証概要を閲覧することができます。寄付に関する一般情報は、www.rotary.org（「寄付」）をご参照ください。

地区独自の情報

以下のような形で、地区に見合ったプレゼンテーションを行うことができます。

- 地区の目標と進捗を伝える。
- ベネファクター襟ピンをいくつか手元に用意し、当日プレゼンテーションの後でベネファクターとなることを決めたロータリアンにその場で授与し、認証する。

話の要点

- ロータリー財団とは、独特な財団です。ロータリアンが所有するこの財団は、世界中のロータリー・プログラムを支援することを唯一の目的としています。どのプログラムを支援するか、どのぐらいの資金を充てるかは、ロータリアンが決定します。ロータリー・クラブは200以上の国と地域で運営されており、ロータリアンは世界中で活動しています。ビジネスのリーダーでもあるロータリアンは、地元地域で効果的に活動する術を知っています。ロータリアンのネットワークは、地域社会のボランティアから成る真にグローバルなネットワークなのです。
- ロータリアンは、以下を通じて財団を支えています。
  - ポリオを撲滅し、世界中の子どもたちに「ポリオのない世界」という贈り物をすることを目指すポリオ・プラスと「ロータリーの2億ドルのチャンレジ」
  - 世界で現在行われている活動を支援するための年次プログラム基金
  - 財団を末永く支え、ロータリー財団が強く、活力を保ち続けることを可能にする恒久基金

ポリオ・プラス基金

- 「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」は、ポリオ撲滅のためにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から2度にわたり授与された総額3億5,500万ドルの補助金に応え、ロータリーがそれに上乗せするための2億ドルを集める募金活動です。ロータリーは、この2億ドルを2012年6月30日までに達成することを目標としています。ポリオ・プラスに寄せられた寄付金はすべて、目標へ向けた資金に算入されます。ポリオ・プラス基金の大部分は、運営面での支援、監視活動、社会動員の3つの主な活動に使用されています。

年次プログラム基金／「毎年あなたも100ドルを」

- 「毎年あなたも100ドルを」推進活動は、プロジェクトや活動への積極的な参加や、年次プログラムへの寄付を通じて、すべてのロータリアンが財団に参加するよう奨励するものです。
- 年次プログラム基金への寄付は、財団独自のシェアシステムを通じて、財団の活動を支えています。寄付は、寄付者個人および寄付者のクラブのものとして行われ、クラブと地区の年次プログラム基金目標に向けて算入されます。

年次プログラム基金の認証

- 年次プログラム基金に毎年100米ドル以上を寄付すると、「財団の友」会員として認証され、ロータリー・クラブの名札に付けられるステッカーが贈られます。
- 1,000米ドルを寄付すると、ポール・ハリス・フェローの称号が与えられ、認証状と襟ピンが贈られます。ポール・ハリス・フェローのメダルの授与は任意であり、ロータリー出版物注文サービスまたはRI日本事務局から購入できます。マルチプル・ポール・ハリス・フェローの襟ピンは、2,000ドルから9,999ドルまでの寄付に対して贈られます。襟ピンには、ポール・ハリス・フェローのレベルに応じて、模造サファイア（青）または模造ルビー（赤）があしらわれています。
- ポール・ハリス・ソサエティとは、地区単位（日本の場合は国単位）で運営されるプログラムで、年次プログラム基金、ポリオ・プラス、承認された補助金に対して、毎年1,000米ドル以上の寄付を行った会員を認証するものです。
- 毎年、ロータリー財団は、年次プログラム基金への寄付において多大な貢献を果たしたクラブを認証するためのバナーを、地区に提供しています。これには以下が含まれます。
  - 地区内で一人あたりの平均寄付額が上位3クラブ（少なくとも一人あたり平均50米ドル）
  - 「毎年あなたも100ドルを」クラブ（一人あたり平均100米ドル、クラブの正会員全員が年次プログラム基金に［金額を問わず］寄付をしている）
  - 100％財団の友会員クラブ（一人あたり平均100米ドル、クラブの正会員全員が年次プログラム基金に100米ドル以上の寄付をしている）
  - 100％ポール・ハリス・フェロー・クラブ（認証の申込時にクラブの正会員全員がポール・ハリス・フェローであること。1度限りの認証）
- ロータリアンから寄せられた年次プログラム基金への寄付は、ロータリー財団の補助金を通じて、人々の生活に変化をもたらしています。
- 100米ドルの寄付は次のような形で実現しています。
  - ホンジュラスの小学校に机を2台
  - タンザニアの女性と子供たちに蚊帳50枚
  - 中国の高校生の学費1年分

- 1,000米ドルの寄付は次のような形で実現しています。
  - メキシコ原住民の子供たちに歯科治療を行うための歯科用携帯いす1台
  - ナイジェリアの眼科患者のための眼鏡400個
  - 家族を養う23人のフィリピン女性を支援するためのマイクロクレジット（小口融資）
- 10,000米ドルの寄付は次のような形で実現しています。
  - メキシコの農村地域のために修理されたスクールバス3台
  - スーダンの障害児のための職業訓練センターにパン製造機
  - ハイチの村に井戸2基

恒久基金

- 恒久基金への寄付は、基金の一部として恒久的に保管されます。これらの寄付金は、専門家によって投資され、恒久基金の収益の一部が毎年、管理委員会と寄付者が指定した目的のために使用されます。恒久基金は、ロータリーとともに末永く続いていく後世への贈り物をつくり出す方法を、ロータリアンをはじめ、多くの人々に提供します。
- 詳細は、www.rotary.orgからダウンロードできる恒久基金の財務報告書をご参照ください。

恒久基金の認証

- ベネファクターとは、ロータリー財団を少なくとも1,000米ドルの受益者として指定することを遺言または資産計画に記した人または夫婦、あるいは恒久基金に1,000米ドルの無条件寄付をした人または夫婦です。ベネファクターには、記念認証状、およびロータリーまたはポール・ハリス・フェロー襟ピンとともに着用できる記章、ならびに感謝状が贈られます。
- 遺産または資産計画において、ロータリーに少なくとも10,000米ドルを分与することを記した人または夫妻は、遺贈友の会に入会することができます。遺贈友の会会員には、遺贈のレベルに基づき、彫りの入ったクリスタル製認証品および遺贈友の会のピンが贈られます。
- 恒久基金への寄付は、ポール・ハリス・フェロー認証の対象とはなりません。

大口寄付者の認証

- ロータリー財団に個人的に10,000米ドルの現金寄付をした人、またはその累積寄付が10,000米ドルに達した人は、大口寄付者となります。大口寄付者となった人は、クリスタル製認証品および（または）大口寄付者のピンかペンダントを受け取ることを選ぶことができます。
- 250,000ドルを個人的に寄付した人は、アーチ C. クランフ・ソサエティの会員となります。会員には、アーチC.クランフ・ソサエティ会員の認証状、クリスタル製認証品、および襟ピンまたはペンダントが贈られます。アーチ C. クランフ・ソサエティ・ギャラリーに、寄付者の肖像と略歴がデジタルで展示されます。ギャラリーの展示スクリーンは、国際協議会とRI国際大会にも運ばれ、会場で展示されます。

大口寄付者とアーチ C. クランフ・ソサティの新しい認証レベル（単位：米ドル）	
大口寄付者レベル1：	$10,000-$24,999.99
大口寄付者レベル2：	$25,000-$49,999.99
大口寄付者レベル3：	$50,000-$99,999.99
大口寄付者レベル4：	$100,000-$249,999.99
アーチ C. クランフ・ソサエティ管理委員会サークル：	$250,000 - $499,999.99
アーチ C. クランフ・ソサエティ管理委員長サークル：	$500,000 - $999,999.99
アーチ C. クランフ・ソサエティ財団サークル：	$1,000,000以上

- 皆さまからのご支援に心より感謝申し上げます。ロータリー財団を熱心に支援している方をご存知の場合、
  - 地区資金推進委員長に連絡してください。
  - 財団の寄付増進担当部（plannedgiving@rotary.org）の職員にお知らせください。
  - www.rotary.orgを頻繁に参照するようロータリアンに奨励してください。
  - 出版物その他の資料のご注文は、shop.rotary.orgからどうぞ。
  - 財団が世界中の人々の生活を変えたストーリーをご存知の方は、財団までぜひお寄せください。

討論のための質問

- 年次プログラム基金に寄付することはなぜ重要なのでしょうか。
- 寄付者を認証することはなぜ重要なのでしょうか。
- 地元の地域社会は、ロータリー財団からどのような恩恵を受けていますか。

活動例

- 参加者とともに、クラブの認証の種類について復習し、これらの目標を目指してクラブがどのように活動できるかについて話し合います。
- 3つの小グループに分かれてもらい、各グループに基金（年次プログラム基金／「毎年あなたも100ドルを」、恒久基金、ポリオ・プラス基金）を割り当てます。各グループに大型用紙とマーカーを配り、基金がどのように人々の役に立てられているかを書き出してもらいます。
- 参加者に2人組になってもらい、寄付が支えている各種プログラムや、財団がいかに人々の生活を変えているかを紹介する2分間の「エレベーター・スピーチ」を、作成してもらいます。

閉会本会議

閉会本会議では、本セミナー中に参加者が学んだことや話し合ったことをまとめます。地区チームが重要な点を要約し、地区内の手続きについて説明できるのは、これが最後の機会となります。閉会本会議をもってこの研修会合が感動的な幕閉めを迎えられるよう、最善を尽くす必要があります。

話の要点

- 討論やキーポイントの重要な部分を強調します。
- セミナーへの熱心な参加に対し、参加者に感謝の意を述べます。
- 参加者が地区指導者に質問する機会を設けます。
- 今後の研修セミナーを改善する上で、評価書への記入が重要であることに触れます。

The Rotary Foundation
of Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
www.rotary.org

438FV-JA—(810)